

古書のたのしみ（令和四年七月）

土屋 博

一「萬葉集略解 二」橘千蔭著

古書價格五百圓也。和綴。縦二七センチ、横一八センチ、美濃紙二つ折りの判型の袋とどのいはゆる大本。文化九年（一八一二年）版の全三十冊本の端本と思はる。保存状態頗る良し。橘（加藤）千蔭は一七三五年生れ、一八〇八年歿。國學者、歌人。賀茂真淵の弟子。萬葉集略解は註釋書として名高し。一七九六年に成立。本書には人麻呂の「かけまくもゆゆしきかも」の歌も収録せらる。

二「校正折たく柴の記 上下」從五位下筑後守新井君美著、文學博士小中村清矩校閲、國學教授鈴木弘恭校訂

（東京書林青山清吉藏版、明治廿七年改訂版、各正價金貳拾五錢、五二丁十七〇丁）
二冊揃古書價格二千五百圓也。和綴半紙本。上下揃とありつれど、紛らはしきことに實は上中下のうち中巻缺なること判明す。古書蒐集の際の注意點なり。和綴半紙本。初版は明治十四年。「明治二十七年九月十三日文部大臣檢定濟尋常中學校師範學校國語科用書」なる旨の記載有り。

三「訂正八版 標註折たく柴の記 全」

（白石社總代大槻修二、標註校正者内藤恥叟、發行兼印刷者青山清吉、明治三十年八版、定價金四拾錢、本文百三頁）

古書價格五百五十圓也。初版は明治十四年。標註者序に曰く、「この折焚柴の記はさきつとし白石社にてすり巻とせしが世にもてはやされて今は残すくなになりたるを小石川なる青山堂の主人あたらしみ思ひてあつらへけらく。此書また新に花ぐはし櫻木の板にものしてあまねく世に薫らしめんとするに」云々と。

四「新井白石全集 第三」

（編輯兼校訂今泉定介、發行者吉川半七、明治三十九年刊、非賣品、七一三頁）
古書價格三百圓也。折たく柴の記上中下、古史通卷一二三四、古史通或問上下、讀史餘論卷一二三、畿内治河記、奥羽海運記、五十四郡考、五事略上下、蝦夷志、南島志上下などを収録す。

五「國定修身 每時教授細案及教授尋常科の部 卷四」遊佐誠甫氏加藤未吉氏共著

(東京金昌堂、明治三十七年刊、定價金五拾錢、三一二頁)

古書價格五百圓也。尋常科四年生(當時の義務教育の完了年次)向けの修身授業の例示、二十七回分、掲げらる。テーマは、大日本帝國、愛國、忠君、孝行、兄弟姉妹、共同、勤勉、時を重んぜよ、志を堅くせよ、勇氣、身體についての心得、知識をみがけ、迷信を避けよ、禮儀、人の名譽を重んぜよ、博愛、公益、兵役、納税、教育、議員選舉、法令を重んぜよ、人は萬物の長、男の務と女の務、よい日本人。最後の二項目を讀まんとするも、該當頁破れ去られ、讀むこと能はず。

六「維新烈士詩傳」柿村重松著

(帝國教育研究會、大正七年刊、定價金壹圓八拾錢、五三二頁)

古書價格三百圓也。例言に曰く、「此書は我が編述せる日本漢文大系の第七篇たる國士遺韻及び浩然氣論の一部を抄録して平易なる解釋を試みたのである」と。目次は、緒論、京畿の士(山陽、星巖など)、水戸の士(東湖など)、松下の士(松陰、玄瑞、東行など)、達識の士(象山、景岳、南洲など)、義烈の士(訥庵など)、附録浩然氣要論。

七「現代紀行文」小林鶯里著

(駸々堂、大正十一年刊、定價金八拾錢、四四七頁)

古書價格五百圓也。はしがきに曰く、「本書の掲ぐるところ内地の勝地は其の大體に於て輯めたるも、如何せん小冊子、或は蛇を捕へ龍を逸したるものなきにあらず」と。本書には、福岡縣立鞍手中學校賞の朱印押され、優秀なる生徒に授與せられたる如くに見ゆ。

八「漢文講座」文學博士宇野哲人・文學博士鹽谷溫監修

(弘道館、大正拾五年十月以降毎月發行、各壹圓)

全十八卷程度存在する筈のうち十冊を苦勞の末に所有す。漢文講座規定の綱領には、「本講座は時代の要求に應じて思想の善導に資し漢文學研究者を啓發することを其の目的とする」とあり。孝經(東京帝大教授鹽谷溫)、論語・中庸(東京帝大兼東京高師教授宇野哲人)、大學(東京高師教授諸橋轍次)、孟子(東京高師教授内野台嶺)、小學(陸軍幼年學校教授飯田傳一)、老子(國學院大教授小柳司氣太)、莊子(八高教授坂井喚三)、荀子(東京高校教授山口察常)、韓非子(山形高校教授平澤東貫)、左傳(學習院教授飯島忠

夫)、十八史略(陸軍士官學校教授鹽野新次郎)、日本外史(東京高校教授頼成一)、文章規範(陸軍士官學校教授高成田忠風)、古文眞寶(大東文化學院教授(近藤正治)、唐詩選(二高教授佐久節)、白樂天詩選(浦和高校教授小野機太郎)、本朝名家詩文(國學院大教授福原龍藏)、時文(二高教授・東京帝大助教教授竹田復)、晉唐小説(武藏高校教授内田泉之助)と綺羅星の如き講師陣なり。

九「老子講義」山田準先生講義

(二松學舎出版部藏版、昭和八年十五版、定價金壹圓、一六八頁)

古書價格三百圓也。初版は大正十四年。山田準は一八六七年生れ、東京帝國大學古典講習科卒、舊制五高、七高教授、二松學舎學長を歴任。一九五二年歿。祖父は山田方谷。

十「藤田東湖全集 第五卷」高須芳次郎編著

(章華社、昭和十年刊、定價一圓五〇錢、三三三頁)

古書價格三百圓也。序文に曰く、「東湖先生が書翰の上で頼山陽先生に匹敵すべき立派な手腕を持つてゐたことは知る人がごく少い」と。

十一「大日本文庫 萬葉集 上下巻」

(春陽堂、昭和十一年刊、非賣品、上巻四一三頁、下巻本文四〇七頁)

古書價格五百圓也。大日本文庫シリーズの製本の豪華さ、内容の充實振りにはいつも壓倒せられ、永く座右の書とするに足る。解題の佐佐木信綱曰く、「理智をまじへぬ人間性の自然、萬葉二十巻を貫き、雄健と天眞の特色を與へ藝術的價值も存す」と。

十二「大日本文庫 日本外史 上下巻」

(春陽堂、上巻昭和十一年刊、下巻昭和十三年刊、非賣品、上巻五二四頁+下巻五三八頁)

古書價格五百圓也。二度目の購入。解題は最適任者たる平泉澄。

十三「興國詩選皇朝篇」鹽谷溫著

(弘道館、昭和十五年三版、定價金參圓、本文五四四頁)

古書價格四百五十圓也。初版は昭和六年。三度目の購入なれど、今回のものは豪華さに缺け、簡易裝幀の普及版なり。

十四「孝經大學中庸新釋」 鹽谷溫・宇野哲人・諸橋轍次共著

(弘道館、昭和十七年十二版、定價二圓六十錢、一〇二一〇四一九四頁)

古書價格三百圓也。初版は昭和四年。大正十五年以降刊行せられし弘道館「漢文講座」の毎月連載分を母體とす。幻の名著といはれ、近年復刻もせらる。

(令和四年八月三日受附)